

# ホットスポットはドリフトしているのか？ - 自転軸に対するホットスポットの運動

## Motion of Hotspots Relative to the Paleomagnetic Axis

# 原田 靖[1]

# Yasushi HARADA[1]

[1] 東海大学 海洋学部

[1] Tokai University

現在の地球科学のトピックの1つに、「ホットスポットはお互いに相対運動をしているのかどうか」というものがある。ホットスポットを不動と考えるのは、一昔前のプレートテクトニクスの仮定であって現在では観測からその仮定が成り立っていないことが証明されていると考えている研究者も少なからずいる。Tarduno et al., 2003 では、ハワイのホットスポットトラックの海山の古緯度を調査したところ、図の黒四角のようになり現在のハワイの緯度（北緯約19度）より過去に遡るほど北に外れる傾向がある。Tardunoらは、これをハワイのホットスポットが南にドリフトしてきた証拠と解釈した。本研究では、これとは全く別の古地磁気や海山の年代のデータ及びホットスポット系に対する新しいプレート運動のモデルから、ホットスポット系に対する新しい古地磁気極の移動モデルを計算した。この運動により予想されるハワイ天皇海山列の古緯度の変化は、図の赤丸印のようになり、ホットスポットのドリフトが無くても観測された古緯度の変化をうまく説明することが示された。

